

# 学力分析シート【学年：3年 教科：数学】

実施日：令和2年2月4日

実施テスト名【 実力テスト 】

作成者【 澤田 英俊 】

課題が大きいと考えられる問題（正答率が低い、県との差が大きい）

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
8-(1)	三角形の内角と外角や二等辺三角形の性質などを利用して、角度を求めることができるかどうかをみる。	36.7	48.3	無答率が40.0%(県27.3%)と高かった。求めたい角と最初から分かっている角が離れているため、求めたい角までたどり着けなかったと考えられる。	○問題の条件をしっかりと読み取らせるため、条件に下線を引かせる。 ○分かった角度をどんどん図に書き込ませるなど、試行錯誤しながら問題を解くという経験をさせる。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
5-(1)	2直線の交点のy座標を、1つの直線の式と交点のx座標の値を使って求めることができるかどうかをみる。	40.8	51.8	無答率が25.0%(県14.2%)と高かった。問題の文章と図を関連付けて考えることができていないと考えられる。	○図のグラフ上に、問題文の文章から分かる式や数を書き込ませる。 ○類題を繰り返し解かせるなど、反復練習を行い定着を図る。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
7-(3)	平面図形の性質を利用して角度を求めることができるかどうかをみる。	10.8	21.2	無答率が36.7%(県27.6%)と高かった。数値で与えられた角の大きさ以外の条件をうまく使うことができなかったと考えられる。	○問題の条件をしっかりと読み取らせるために、与えられている条件に下線を引くとともに、図の中に書き込ませる。 ○類題を繰り返し解かせるなど、反復練習を行い定着を図る。

例

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
1四 (1)ア	「対象」学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	39.1	48.2	「対象」と書かなければならないところを「対称」や「対照」と間違える児童が多かった。算数科の「対称」と間違える児童が多い。同音異義語に課題がある。漢字の意味を考えながら漢字の習得が図られていないと考えられる。	○新出漢字の学習時には、同音異義語を指導する。 ○宿題の漢字練習においては、字形の練習だけでなく、熟語の練習も行う。(例)対称な図形をかく。 ○新出漢字の練習を学期の始めに実施し、反復練習を行う。